

伊良湖水道貨物船衝突事故について(第3報)
平成11年6月30日18時現在
消防庁特殊災害室

1 発生日時・場所

平成11年6月29日16:55頃

北緯34度32分54秒・東経137度00分(愛知県渥美町伊良湖岬の沖合)

2 海難船舶の要目

船名:日清(自動車運搬船) 総トン数:6,492トン

船名:第八東星丸(貨物船) 総トン数:497トン

3 海難の概要

・愛知県渥美町伊良湖岬の沖合で自動車運搬船「日清」と貨物船「第八東星丸」が上記1の日時場所において衝突し、約5分後第八東星丸が沈没し、燃料油(重油)が流失したもの。

・第八東星丸の乗員5名のうち甲板長が29日救出され、船長など残り4名が行方不明で捜査中。

・海上荒天のため、燃料タンクの計測が困難で、流出量は不明である。

4 流出油の状況等

(1)6月29日

・17:28 鳥羽海上保安部から16:55頃貨物船と自動車運搬船が衝突し、そのうち1船が沈没した模様で、油流出の可能性有り。

・18:37 自動車運搬船「日清」と貨物船「第八東星丸」の衝突で、「第八東星丸」の乗員5名のうち1名救助し、残り4名を海上保安庁の巡視船9隻で捜査中。油流出については、海上荒天のため未確認。

・愛知県西部は、大雨雷強風波浪注意報が、三重県では、大雨警報のため、視界が不良であった。

(2)6月30日

・7:30 衝突地点から北東へ長さ約3.2km、幅30~100mで、南東方向方向広がりがつつある。(航空機より確認)

沿岸への漂着のおそれは、風向きによって伊勢湾内へ拡がる可能性がある。

・10:20 神島南東(灯台下付近沖合約70m)に帯状の油を三重県防災ヘリで確認。

・10:30 三重県鳥羽市浦村町生浦湾に浮かぶ筏に漂着する油を三重県防災ヘリで確認。

・12:30 愛知県所有の監視船「あゆち丸」が神島南東において薄い油を確認。

・15:10 三重県伊勢市宮川沖に帯状の油らしきものを防災ヘリで確認。

・15:15 神島東に帯状の油を防災ヘリで確認。

・15:21 三重県鳥羽市答志町答志漁港内において円状の油を防災ヘリで確認。

・15:26 三重県鳥羽市浦村町生浦湾において帯状の油を防災ヘリで確認。

・15:36 三重県志摩郡阿児町の矢湾において帯状の油を防災ヘリで確認。

・浮流油で、神島の南東において、幅5~10m、長さ1km程度残っており、当初油回収ネット及び油吸着マットで回収し、その後油処理剤を散布する方針だったが、浮流油が拡散しているため状況を見守っている。

・行方不明者については、鳥羽海上保安部の巡視艇14隻で捜査中。

5 県等の対応

(三重県)

・防災ヘリにより上空から油流出箇所の確認調査を行った。

・関係市町村については、注意喚起を行っている。

(愛知県)

・防災ヘリにより上空から油流出箇所の確認調査を行った。

・監視船「あゆち丸」により油流出箇所の確認調査を行った。